

# 人財確保と定着への取組 ～若手職員による魅力発信チームの活動から～

社会福祉法人 南山城学園（京都府）

住 所 京都府城陽市長池五社ヶ谷 14-1  
TEL 0774-54-7210  
URL <http://www.minamiyamashiro.com/>

経 営 理 念 **法人の基本理念**  
・利用者様の尊厳を守り、幸福を追求する  
・地域のニーズにパイオニア精神で取り組み、共生共助の地域づくりに貢献する  
・いつでも誰もが安心して利用できる福祉サービスを創造する

事 業 内 容 及び 定 員

- 居住支援事業**
  - ・障害者支援施設 7 か所  
(円 60 名、和 79 名、魁 60 名、翼 35 名、凜 40 名、光 42 名、輝 58 名)
  - ・障害者グループホーム 7 か所、定員各 6 名  
(観音堂、樋尻、寺田、長池、鷺坂、今池、古川)
  - ・介護老人保健施設 煌、定員 100 名
- 通所支援事業**
  - ・知的障害者デイサービスセンターあっぷ 30 名
  - ・身体障害者デイサービスセンターすいんぐ 22 名
  - ・障害者デイサービスセンターわこう 30 名
  - ・障害者就労移行支援事業所 魁 12 名
  - ・児童日中一時支援事業所ちえりー 6 名
  - ・高齢者デイサービスセンターすまいる 25 名
  - ・介護老人保健施設煌通所リハビリテーション 30 名
- 相談支援事業 7 か所**  
(障害者就業・生活支援センターはぴねす、障害者生活支援センターは一もにい、りーふ、障害児(者)地域療育支援センター、山城総合相談支援センターういる、京都府地域生活定着支援センターふいと、居宅介護支援事業所すまいる、老人居宅介護支援事業所れいんぼう)
- 子育て支援事業 3 か所、定員各 12 名**  
(かぜの詩保育園、そらの詩保育園、はなの詩保育園)
- 医療・健康管理事業 2 か所**  
(南山城学園診療所、和光診療所)
- カフェ 2 か所**  
(ぶちぼんと、ぷらんとたん)

収 入 (法人全体) 平成26年度決算	① 社会福祉事業	3,187,422 円
	② 公益事業	81,278 円
	合計	3,268,700 円

職 員 数  
(法人全体) 約 600 名 (非常勤含む)

当 面 す る  
経 営 課 題

- ・ 障害者の地域移行
- ・ 高齢障害者の居住安定
- ・ 高齢者福祉の充実
- ・ 地域コミュニティの活性化
- ・ 福祉教育・啓発の推進
- ・ 魅力ある職場づくり
- ・ 災害時の対応
- ・ 保育・子育て支援事業の展開
- ・ 生活困窮者への支援
- ・ 研究と実践の連係

取 り 組 み に  
着 手 し た  
理 由、 背 景

一つ目は、これからの法人の事業展開を見据えて、幅広い分野における人材確保、人材育成が必須となる。よって、現場からの生の情報発信を組織的に強化することにより、より良い人材を確保することにつながると考えたため。

二つ目は、地域住民対象のアンケートにおいて、「実態が不明確、存在が浸透していない」ことが明らかとなった。また職員アンケートにおいても、さらなる地域社会とのコミュニケーションを活性化させることが必要だと感じている職員が多くいることが分かった。よって、社会福祉法人そのものが地域の財産となり人々の絆を結ぶ使命を果たすために、地域の理解をさらに深める活動を若手職員が率先すべきと考えたため。

取 り 組 み の  
現 時 点  
で の 効 果

採用活動においては、メンバーが就職フェアなどでの説明担当者や大学の社会福祉学科などにおける講義でのゲストスピーカーを務めている。「年の近い職員が生き生きと自分の仕事を語り、目標と誇りを持っている姿」を見た学生たちには良いお手本、憧れの対象ともなっている。実際に内定者が当法人に就職を決めた理由にも上がっており、チームの活動が採用に効果を与えている。

法人内部においては、法人理念や将来の方向性、課題、求める人材像などをテーマに話し合うことにより、客観的に自らの仕事、自法人のことを見直し、評価することができた。メンバー内で共通認識が育まれることによって、それぞれの事業所内での成長意識が向上し自らを磨くことにも繋がっている。

現在は2年目になるが、メンバー自身の意識がさらに上がり、より魅せる話し方や資料の作成においても工夫が見られる。



# 人材確保と定着への取組

～若手職員による魅力発信チームの活動から～



1

## はじめに

福祉人材確保の困難さを、制度やマスコミの責任にするのではなく「わたしたち自身ができること」は何か？と考えた。



若手職員を中心とした魅力発信チームを組織し、同世代の若者たちに福祉職の魅力を伝える取組を始めた。



2

# GAKUEN(GKN)魅力発信チーム

## 2014年

入職10年未満の若手職員を中心に構成される魅力発信チームを25名で発足

## 2015年

34名に増員(半数は前年度からの継続メンバー)



3

## 活動にあたっての事前研修



GKN魅力発信チームの役割 学生とのコミュニケーション上の注意点  
広報の基本 法人の魅力は何か  
就職活動中の学生の心理 パワーポイントや映像の作成実習

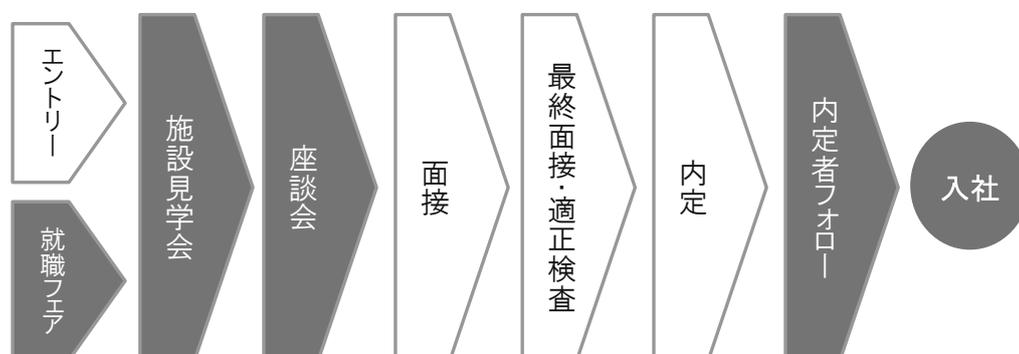


4

## 活動内容

1. 就職説明会や座談会
2. 大学の講義などでのゲストスピーカー
3. 福祉職の魅力を伝える映像を作成、発表

## 採用活動における関わり



## ①就職説明会や座談会



- 就職フェアにて仕事内容を語る
- 座談会にて、現場の支援の実際や悩み、やりがいを語り、学生と意見交換する

## ②大学との連携



### 学校訪問回数

2014年度 47回

2015年度 20回

### 講義回数

2014年度 7回

2015年度 6回

### ③福祉職の魅力を映像で伝える



利用者との関わりの中で感動した出来事を「5分間の映像」と「エピソード」に。

2014年2月に京都市内の大学で開催された「スマイルフェスタ」(京都府主催)でGKNメンバーにより発表。

## 採用活動における定量効果

採用年度	エントリー	面接者	内定者
平成26年度	318名	45名	26名
平成27年度	<b>449名</b>	58名	33名
平成28年度 (8月末時点)	<b>240名</b>	69名	19名

※魅力発信チームの活動(27年度採用～)

## 採用活動における定性効果

- 年の近い職員が生き生きと自分の仕事を語り、目標と誇りを持っている姿が学生たちの記憶に残る。
- メンバーのファンになってもらうことは、法人の魅力にも繋がる。

## 定着における定量効果

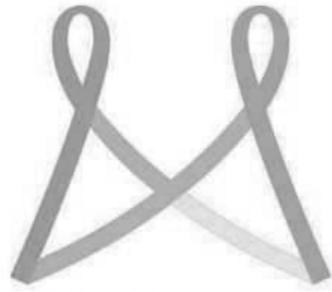
年度	正職員数	退職者数	離職率
平成24年度	204名	10名	4.9%
平成25年度	207名	12名	5.8%
平成26年度	215名	8名	3.7%

## まとめ

- 求職活動における魅力発信チームの役割は、就職希望者の増加という成果が出ている。
- 魅力発信チームが関わることにより、働き甲斐の向上、定着に繋がっている。

## 最後に

このGAKUEN魅力発信チームは、今後の法人の人材育成及び人材確保、また地域福祉発展戦略に欠かせない活動になると期待している。



社会福祉法人

南山城学園